



贈呈式の様子

矢崎財団

学術賞に忍久保氏、大塚氏 研究助成金は15人

矢崎化学技術振興記念財団は8日、第35回研究助成金贈呈式を東京プリンスホテル（東京都港区）で開催した。17年度の「研究助成金受領者」は15人、「国際交流援助」は昨年より2人多い19人となった。過去に同財団から研究助成を受け

た研究者の中から、優れた研究者を讃える「矢崎学術賞」では「功績賞」は名古屋大の忍久保洋化学・生物工学専攻教授、「奨励賞」は理化学研究所の大塚朋廣研究員を選出した。また「特定研究

助成」には東北大の福島誉史准教授が対象となった。

「一般研究助成」には78件の応募の中から、関西学院大の吉川浩史准教授ら5人が選定され200万円を、「奨励研究助成」には53件の応募の中から室蘭工業大の小林洋介助教や東北大の馬騰（またん）助教ら10人が選定され100万円を助成された。同事業は、一般研究助成（助成金200万円）と特に若手研究者を対象とした奨励研究助成（同100万円）、財団が特定したテーマにふさわしい研究を助成する特定研究助成（同1千万円）がある。また国際的な学会で論文や共同研究発表を行う際の渡航費を「国際交流援助」で発表している。